



2023年12月22日

各 位

会 社 名 日本パレットプール株式会社
代表者名 代表取締役社長 浜島 和利
(コード番号：4690) 東証スタンダード市場
問合せ先 取締役経営推進本部長 山西 孝
(TEL：06-6373-3231)

2023年度「当社取締役会の実効性の分析・評価」結果の概要について

この度、『コーポレートガバナンス・ガイドライン』の運営指針に基づき、当社取締役会の実効性を分析・評価いたしましたので、その結果の概要を以下の通り開示いたします。

I. 分析・評価方法

当社取締役会は、取締役会の実効性を分析・評価するため、2023年11月に取締役会事務局が作成した取締役会実効性評価項目に基づき、社外を含む全取締役、監査役9名が評価を実施し、その結果について2023年12月の取締役会で報告があり、議論を行いました。

II. 評価項目

取締役会実効性評価の主な項目は以下のとおりです。

1. 取締役会の構成
2. 取締役会の運用
3. 取締役会の議題
4. 取締役会を支える体制
5. 昨年度評価の悪かった項目の改善状況

III. 分析・評価結果の概要

各取締役による取締役会の実効性にかかる評価の結果、上記の各評価項目について、概ね適切であることが確認されました。評価項目別の概要については以下のとおりです。

1. 取締役会の構成について

人数や社外取締役の割合については、概ね適切であるとの評価であったが、構成員については、多様性の観点から女性の社外取締役の登用が必要との意見が出ました。

2. 取締役会の運用について

取締役会の審議時間や発言できる雰囲気あるいは議案の分量については概ね適切であるが、資料の事前検討時間がまだ改善されていないとの意見が出ました。

3. 取締役会の議題について

議題の選定については概ね適切であるが、中期経営計画の進捗状況等の報告や論議が少ないとの意見が出ました。

4. 取締役会を支える体制について

役員就任時の知識の習得機会が不十分という意見が出ました。また、就任後についても、各種専門家講師による勉強会の開催を要望する意見が出ました。

5. 昨年度評価の悪かった項目の改善状況

A. 「資料を事前に検討する時間が少ない」の改善状況

改善されているとの意見が多数であるものの、まだ不十分との意見が出ました。

B. 「中期経営計画の進捗状況等の報告や議論が少ない」の改善状況

改善されているとの意見が多数であるものの、まだ不十分との意見が出ました。

IV. 今後の対応

当社取締役会は、これらの課題について議論を重ね、取締役会の実効性の向上を図り、これからも中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

以 上